※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和8年度 数学科

教科	数学	科目	数学 B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	数学B Advanced（東京書籍）						
副教材等	PRIME 数学Ⅱ+B （東京書籍），LEGEND 数学Ⅱ+B（東京書籍）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に Libly 上にて提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、意味がありません。授業のポイントや自身で気付いたこと、クラスメイトの発言した内容などをどんどんメモしていきましょう。

2 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにしているかを評価する。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養っているかを評価する。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っているかを評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ学期	第Ⅰ章 数列	第Ⅰ節 数列 1. 数列 2. 等差数列 3. 等比数列 4. 和の記号Σ 5. 階差数列 6. いろいろな数列	a: ◎数列についての基本的な用語の意味を理解する。 ◎等差数列について理解し，一般項や和を求めることができる。 ◎等比数列について理解し，一般項や和を求めることができる。 a:b: ◎階差数列について理解する。また，数列の和と一般項の関係について理解し，一般項を求めることができる。 ◎和の記号 Σ について理解し，一般項が３次以下の多項式で表される数列の和を求めることができる。 c: いろいろな数列の和や，群数列について考察することができる。 c:探究 $a_k = A_{k+1} - A_k$ を利用した数列の和の求め方	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	グループ学習 ワークシート
		第2節 漸化式と数学的帰納法 1. 漸化式 2. 数学的帰納法	a:b: 漸化式について理解し，さまざまな事象の考察に応用することができる。 b:c:数学的帰納法について理解し，数学的帰納法を用いてさまざまな命題を証明することができる。 c:探究 数列の漸化式の様々な見方 活用 複利法とローンの返済	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	グループ学習 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	第2章 統計的な推測	第1節 標本調査 1. 母集団と標本 第2節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の平均と分散 3. 確率変数の和と積 4. 二項分布 <

※令和４年度以降入学生用

		第4節 統計的な推測 1 母集団の分布 2 標本平均の分布 3 母平均の推定 4 仮説検定の方法	a: 母集団の平均，分散，標準偏差を求めることができる。 a:b:母集団分布と標本分布の関係，および標本平均の分布の特徴について理解し，標本平均の平均と標準偏差や，標本平均が条件を満たす確率を求めることができる。 a:b:得られた標本から母集団の特徴を表す値を推測する方法として，正規分布を利用した信頼区間の考え方を理解し，母平均および母比率を推定することができる。 a:得られた標本から母集団に関する主張が妥当かどうかを判断する方法として，正規分布を利用した仮説検定の考え方を理解し，母平均および母比率に関する主張について仮説検定することができる。 b: ◎大数の法則について理解し，標本の大きさ n が大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子について説明できる。 ◎片側検定と両側検定の違いを理解し，どちらの検定をするか正しく判断できる。 c: 現実に行われている様々な調査が全数調査か標本調査か，またその方法を採用しているのはなぜかということに興味をもち，それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	グループ学習 ワークシート
3学期	3章 数学と社会生活	活用 世論調査と支持率 1節 現象と数学 1 現象のモデル	a:b:c: 日常の事象や社会の事象において，数・量・形やそれらの関係に着目し，理想化したり単純化したりして，問題を数学的に表現し，特徴を見いだして解決する活動を通して，社会生活などにおける問題を，数学を活用して解決する意義について理解する。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	グループ学習 ワークシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度